



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 リズム時計工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7769 URL http://www.rhythm.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 孝二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 奥田 伸一郎 (TEL) 048-643-7213
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 24,949 | △2.4 | 656 | 29.1 | 744 | △1.9 | 622 | 22.0 |
| 28年3月期第3四半期 | 25,552 | △6.3 | 508 | △26.6 | 759 | △24.9 | 510 | △31.1 |

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,182百万円(342.6%) 28年3月期第3四半期 267百万円(△89.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第3四半期 | 6.61 | — |
| 28年3月期第3四半期 | 4.97 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 45,655 | 32,427 | 71.0 |
| 28年3月期 | 45,195 | 32,118 | 71.1 |

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 32,427百万円 28年3月期 32,118百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 29年3月期(予想) | | | | 3.00 | 3.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 32,000 | △4.0 | 650 | 17.3 | 900 | 17.0 | 700 | △33.6 | 7.43 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年3月期3Q | 93,850,939株 | 28年3月期 | 117,178,939株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期3Q | 1,026,628株 | 28年3月期 | 21,014,681株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年3月期3Q | 94,213,202株 | 28年3月期3Q | 102,649,889株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する監査手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (追加情報) | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日）における経済情勢は、英国のEU離脱決定や難民問題、テロ事件、そして米国大統領選挙の結果など、これまでの常識が通用しない状況となっております。これらにより為替、株価やビジネスに様々な影響が出始めており、国内外を取り巻くビジネス環境はより速いスピードで複雑かつ不確実な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、平成28年5月に策定した中期経営計画のもと、精密分野でのカテゴリーNo.1の実現へ取り組んでまいりました。海外売上につきましては、グループ全体での取り組みを積極的に進め、現地通貨ベースでは増収となりましたが、外貨換算の会計処理で決算日レートを採用する当社にとり、前年同期と比較しての円高は換算上でのマイナス要因となり、売上高は全体で若干の減収となりました。営業利益においては、接続端子事業ならびにプレジジョン事業が好調に推移したこと、電子事業での営業損失が大幅に縮小したことにより、時計事業での減益があったものの、全体では増益となりました。以上から業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

| 売 上 高 | 平成28年3月期 第3四半期 連結累計期間 | 平成29年3月期 第3四半期 連結累計期間 | 増 減 額 | 増 減 率 |
|----------|-----------------------------|-----------------------------|--------|--------|
| 時計事業 | 9,614 | 8,578 | △1,035 | △10.8% |
| 電子事業 | 5,507 | 5,414 | △93 | △1.7% |
| プレジジョン事業 | 3,978 | 4,595 | 617 | 15.5% |
| 接続端子事業 | 6,205 | 6,111 | △93 | △1.5% |
| その他 | 246 | 249 | 2 | 1.1% |
| 計 | 25,552 | 24,949 | △603 | △2.4% |

(単位：百万円)

| 営 業 利 益 | 平成28年3月期 第3四半期 連結累計期間 | 平成29年3月期 第3四半期 連結累計期間 | 増 減 額 | 増 減 率 |
|----------|-----------------------------|-----------------------------|-------|--------|
| 時計事業 | 324 | 45 | △279 | △86.1% |
| 電子事業 | △216 | △13 | 202 | — |
| プレジジョン事業 | 79 | 269 | 190 | 238.6% |
| 接続端子事業 | 446 | 676 | 229 | 51.5% |
| その他 | 47 | 44 | △2 | △5.3% |
| 調整額 | △173 | △365 | △192 | — |
| 計 | 508 | 656 | 147 | 29.1% |

上記の営業利益に営業外損益を加えた経常利益は7億44百万円となり、前年同期7億59百万円に対し、1.9%の減益となりました。

これに税金費用や固定資産売却益等を加えた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億22百万円となり、前年同期5億10百万円に対し、22.0%の増益となりました。

これらをセグメント別に見てみますと次のとおりであります。

① 時計事業

国内販売におきましては、主力のクロックは法人向け売上の減少や量販店での売上減少がありました。また、非クロックでは、自治体向け防災行政ラジオの需要減少に加え、仕入れ品の売上減少がありました。利益面では為替の追い風があり、減収増益となりました。海外販売におきましては、ASEAN地域を中心にウォッチ販売は好調に推移しましたが、クロック販売が減少し現地通貨ベースでは横ばいとなりました。利益面においては、販促費の増加やベトナム工場での減価償却費の増加などにより、営業損失となりました。これらの結果、時計事業全体では、減収減益となりました。

② 電子事業

電子事業におきましては、海外では車載向けの小型カメラや加飾部品、EMS案件の受注が好調に推移し、増収増益となりました。一方、国内においては、車載向けアナログ時計、建機用カメラや船舶表示機器の受注などが好調に推移しましたが、情報機器分野の受注減少をカバーするに至らず、減収となりました。利益面では合理化に向けての取り組みを積極的にすすめました。これらの結果、電子事業全体では減収となりましたが、営業損失は大幅に縮小いたしました。

③ プレシジョン事業

プレシジョン事業におきましては、基幹事業である国内での精密金型、精密加工部品及び工作機械部品などの受注が引き続き好調に推移いたしました。また、車載カメラ部品などの新領域に対する拡販も積極的に行い、増収増益となりました。また、プレシジョン事業全体では、子会社買収に伴う一時的な費用計上があったものの、国内での増収効果や海外での合理化などが寄与し、増収増益となりました。

④ 接続端子事業

接続端子事業では、太陽光、AV機器向け部品は厳しい市場環境のもと、減収となりましたが、主力である二輪・四輪向けや、家電、電動アシスト自転車向け接続端子、小型精密プレス部品などの受注は好調に推移いたしました。国内では受注が減少したものの、試作品の受注獲得や自動化などの合理化に注力した結果、減収増益となりました。海外では、インドネシアやベトナムにおいて、主に二輪・四輪向け小型精密プレス部品などの受注が好調に推移し、現地通貨ベースでは増収増益となりました。これらの結果、接続端子事業全体の売上高は円高による為替の影響により、減収となりましたが、営業利益では増益となりました。

⑤ その他

物流事業その他事業につきましては、物流子会社におけるグループ外での受注が拡大しましたが、将来に向けての投資である新倉庫建設に伴う費用増加などがあり、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は456億55百万円となり、前連結会計年度末451億95百万円に比べて4億59百万円増加しました。流動資産は、たな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加しました。固定資産は投資有価証券の増加等により、前連結会計年度に比べ3億57百万円増加しました。

(負債)

負債合計は132億28百万円となり、前連結会計年度末130億76百万円に比べ1億51百万円増加しました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加等により前連結会計年度末に比べ5億87百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億36百万円減少しました。

(純資産)

純資産合計は、324億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ、その他有価証券評価差額金の増加などにより、3億8百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予測につきましては、平成28年11月8日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,569 | 10,946 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,588 | 5,300 |
| 電子記録債権 | 2,097 | 2,357 |
| たな卸資産 | 8,064 | 8,689 |
| その他 | 693 | 832 |
| 貸倒引当金 | △1 | △11 |
| 流動資産合計 | 28,012 | 28,114 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 8,292 | 8,777 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,091 | 1,880 |
| その他 | 914 | 721 |
| 無形固定資産合計 | 3,005 | 2,601 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,740 | 4,264 |
| その他 | 2,257 | 2,006 |
| 貸倒引当金 | △112 | △108 |
| 投資その他の資産合計 | 5,885 | 6,161 |
| 固定資産合計 | 17,183 | 17,540 |
| 資産合計 | 45,195 | 45,655 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,061 | 3,605 |
| 短期借入金 | 336 | 358 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 600 | 698 |
| 未払法人税等 | 283 | 126 |
| 賞与引当金 | 178 | 130 |
| 役員賞与引当金 | 15 | — |
| その他 | 1,161 | 1,304 |
| 流動負債合計 | 5,636 | 6,223 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 5,000 | 5,000 |
| 長期借入金 | 958 | 596 |
| 退職給付に係る負債 | 835 | 809 |
| その他 | 646 | 599 |
| 固定負債合計 | 7,440 | 7,004 |
| 負債合計 | 13,076 | 13,228 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,372 | 12,372 |
| 資本剰余金 | 13,681 | 9,806 |
| 利益剰余金 | 7,145 | 7,479 |
| 自己株式 | △3,460 | △170 |
| 株主資本合計 | 29,739 | 29,487 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 722 | 1,196 |
| 為替換算調整勘定 | 1,866 | 1,886 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △210 | △143 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,379 | 2,939 |
| 純資産合計 | 32,118 | 32,427 |
| 負債純資産合計 | 45,195 | 45,655 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 25,552 | 24,949 |
| 売上原価 | 19,315 | 18,733 |
| 売上総利益 | 6,236 | 6,216 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,728 | 5,559 |
| 営業利益 | 508 | 656 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 16 | 6 |
| 受取配当金 | 164 | 134 |
| 受取賃貸料 | 162 | 155 |
| 信託収入 | 139 | 139 |
| 為替差益 | 10 | — |
| その他 | 38 | 73 |
| 営業外収益合計 | 532 | 509 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 29 | 38 |
| 社債発行費 | 60 | — |
| 出向費用 | 39 | 57 |
| 賃貸費用 | 72 | 61 |
| 信託費用 | 42 | 49 |
| 為替差損 | — | 165 |
| その他 | 37 | 47 |
| 営業外費用合計 | 280 | 421 |
| 経常利益 | 759 | 744 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 47 | 166 |
| 投資有価証券売却益 | 65 | 39 |
| 負ののれん発生益 | — | 49 |
| 特別利益合計 | 112 | 256 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 16 | 10 |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 投資有価証券売却損 | 0 | — |
| 投資有価証券評価損 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 17 | 10 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 854 | 990 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 252 | 337 |
| 法人税等調整額 | 91 | 31 |
| 法人税等合計 | 344 | 368 |
| 四半期純利益 | 510 | 622 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 510 | 622 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 510 | 622 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △251 | 473 |
| 為替換算調整勘定 | 24 | 20 |
| 退職給付に係る調整額 | △15 | 66 |
| その他の包括利益合計 | △242 | 560 |
| 四半期包括利益 | 267 | 1,182 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 267 | 1,182 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成28年5月23日及び平成28年10月3日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式を消却することを決議し、平成28年10月20日に普通株式23,328,000株の消却を実施しております。これにより、資本剰余金および自己株式がそれぞれ3,875百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が9,806百万円、自己株式が170百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|----------|--------|--------|------------|--------|
| | 時計事業 | 電子事業 | プレシジョン事業 | 接続端子事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,614 | 5,507 | 3,978 | 6,205 | 25,305 | 246 | 25,552 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 85 | 3 | 108 | 1 | 198 | 652 | 851 |
| 計 | 9,699 | 5,511 | 4,086 | 6,206 | 25,504 | 899 | 26,403 |
| セグメント利益又は損失(△) | 324 | △216 | 79 | 446 | 634 | 47 | 681 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 634 |
| 「その他」の区分の利益 | 47 |
| セグメント間取引消去 | 35 |
| 全社費用(注) | △224 |
| 棚卸資産の調整額 | 15 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 508 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|--------------|------------|--------|------------|--------|
| | 時計事業 | 電子事業 | プレジ ジョン事業 | 接続端子 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,578 | 5,414 | 4,595 | 6,111 | 24,699 | 249 | 24,949 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 20 | 8 | 73 | 0 | 102 | 610 | 712 |
| 計 | 8,598 | 5,422 | 4,668 | 6,111 | 24,802 | 859 | 25,661 |
| セグメント利益又は損失(△) | 45 | △13 | 269 | 676 | 977 | 44 | 1,022 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 977 |
| 「その他」の区分の利益 | 44 |
| セグメント間取引消去 | △9 |
| 全社費用(注) | △342 |
| 棚卸資産の調整額 | △13 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 656 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当社の管理部門については連結経営が進む中でグループ一体経営を目的とした戦略機能としての意味合いが強くなったため、第1四半期連結会計期間より「時計事業」と「電子事業」に配分していた管理部門の費用の一部については、セグメント利益又は損失の調整額に「全社費用」として計上する方法に変更しております。

この変更により、従前の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメントの利益が「時計事業」で40百万円増加し、セグメント損失が「電子事業」で22百万円減少しております。

(重要な後発事象)

当社は、資産の効率化及び財務体質の改善を図るため、保有する投資有価証券の一部を平成29年1月25日に売却いたしました。これに伴い、平成29年3月期連結会計年度において、投資有価証券売却益302百万円を特別利益に計上いたします。